



## うるしの里をめざして


うるし振興室 中村 景子

## 話の流れ

1. 漆の産地・二戸市とは…？
2. 漆とは…？
3. 漆の採取方法は…？
4. 漆と浄法寺


## 1. 漆の産地・二戸市とは…？

- ・岩手県のとっぺん（北部）に位置し、北部に折爪岳、西部には稲庭岳がそびえ、湧き水も豊富な自然豊かな都市
- ・雑穀、ブローラー、葉タバコの生産が盛ん
- ・座敷わらしで有名な金田一温泉が市の東部にある



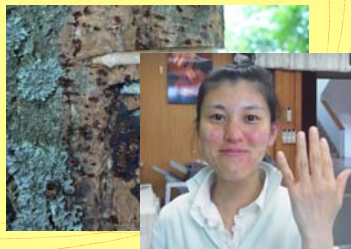
## 1. 漆の産地・二戸市とは…？

- ・二戸市の西部に位置する漆の生産量日本一の町
- ・葉タバコ、稲作が盛ん
- ・瀬戸内寂聴さんが住職を務めた天台寺がある



## 2. 漆とは…？

- ・ウルシノキから採取される乳白色の樹液
- ・いったん固まった漆を溶かす溶剤はない
- ・熱に強い
- ・抗菌作用がある
- ・紫外線に弱い
- 環境に優しい
- ・カブレの心配



## 2. 漆とは…？



雄花                      実                      雌花

### 3. 漆の採取方法は...?

漆の採取方法

- ・殺し掻き法  
一本の木から1年で全ての漆を採りつくし、木を切り倒す方法
- ・漆かきの時期  
およそ6月～10月
- ・一本の木から採れる漆の量  
コップ一杯分ほど

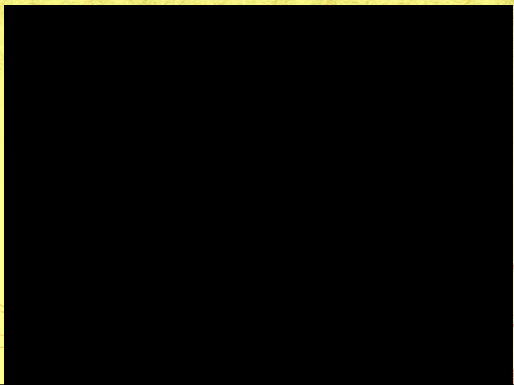


### 3. 漆の採取方法は...?



- ・漆掻きの道具  
左よりタカッポ、カンナ、ヘラ、ウルシカマ

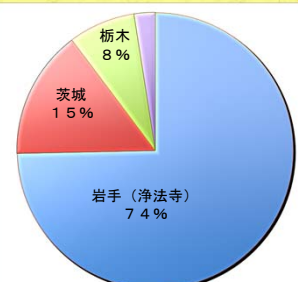
### 3. 漆の採取方法は...?



### 4. 漆と浄法寺

- ・二戸市浄法寺町は漆の生産量が日本一

→日本で生産されている漆の70%強が浄法寺のもの



国産漆の生産割合 (『H22特用林産基礎資料』)

### 4. 漆と浄法寺

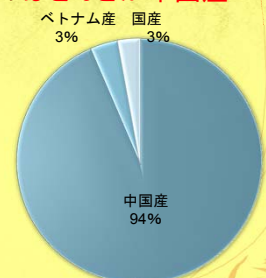
なぜ浄法寺に漆掻きが残されてきたのか?

- ・木がある  
←南部藩での漆植栽の強い奨励
- ・お金になる  
←戦中、戦後に漆の価格が高騰
- ・換金可能な産業が他になかった  
←耕地の面積が少ない、工業化が難しかった

### 4. 漆と浄法寺

- ・日本で使われている漆のほとんどが中国産
- ・化学塗料の登場

中国産に比べ、値段が高く、適正な価格で浄法寺漆が売れない



国産漆の生産割合 (『H22特用林産基礎資料』)


### 4. 漆と浄法寺

背景

- 国産漆の需要 **減少**
- 浄法寺漆、浄法寺塗の認知度の **低さ**
- 漆掻き職人の **高齢化、後継者不足**
- 国産や良いものへの関心の **高まり**

### 4. 漆と浄法寺

- 浄法寺漆は、様々な文化財の修復に使用されている
- 例. 日光二社一寺、金閣寺



- 中尊寺金色堂新ご本尊の建立にも使用されている



### 4. 漆と浄法寺



中国の漆を使用(30年経過)



日本の漆(浄法寺漆)を使用(60年経過)

### 4. 漆と浄法寺

① 「**需要の拡大**」が大きな課題

- 漆掻き職人の高齢化、後継者不足

年代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数(名)	3	1	3	6	8	7

岩手県浄法寺漆生産組合所属28名(H24.4.1現在)

- 採取可能なウルシノキの本数が少なく、将来漆の採取が困難な状況になる

漆原木全体	採取可能	採取不能
140,000	132,500	7,900

単位 本 (H21年度末時点)

### 4. 漆と浄法寺

② 「市民が漆に愛着を持っていない、漆のことをよく知らない」ことも問題

### 4. 漆と浄法寺

平成22年度～ うるしの里づくり推進事業

- 小規模ながら多面的で自立した産業として確立させる
- 就労の場の確保、所得の向上、定住人口の増加
- 他産業、他の地場産品の販路開拓にもつながるネットワークの構築
- ふるさとへの愛着心の高揚
- 二戸市の認知度向上、イメージアップにつなげる

## 4. 漆と浄法寺

- ①後継者育成（日本うるし掻き技術保存会）  
今まで30名を超える研修生が修了  
漆掻き新規就業者支援事業



## 4. 漆と浄法寺

- ①安定した量と品質を確保しながら、漆を生産・供給する責任果たす  
→浄法寺漆認証制度が  
平成20年度よりスタート  
産地保証  
トレーサビリティ



## 4. 漆と浄法寺

- ①漆林の保育管理の指導啓発、漆を植える方への補助金制度作り、漆植樹祭を行う



## 4. 漆と浄法寺

- ①建築資材などへの漆の用を促進



## 4. 漆と浄法寺

- ①漆器貸出、首都圏での漆器モニタリング、展示販売会など



## 4. 漆と浄法寺

- ②めっせうるしさまの開催、赤ちゃんへの漆器貸出などを行い、親しみを持ってもらう



## 4. 漆と浄法寺



## 4. 漆と浄法寺

ちょっと  
宣伝!

### 浄法寺塗

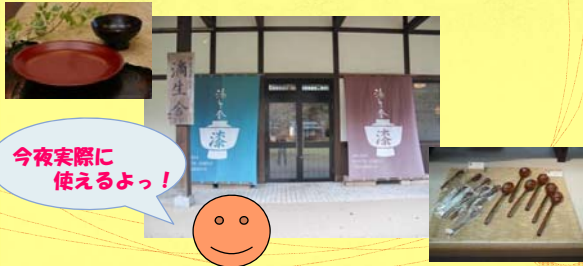
- ・天台寺の僧が漆器を作り始めたのが起源?
- ・庶民が日常で使用するものを中心
- ・原料から製品まで一貫して生産できるのが特徴



## 4. 漆と浄法寺

### 滴生舎

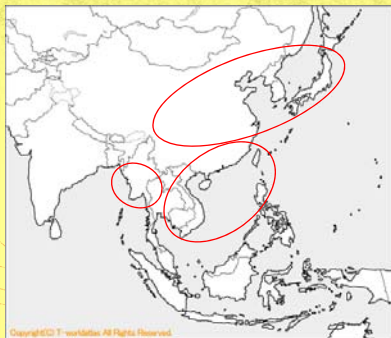
- ・コンセプト…浄法寺漆にこだわったものづくり



ご清聴ありがとうございました



## 2. 漆とは...? (参考)



- ・漆の木の分布範囲  
日本、中国  
～東南アジア

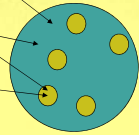
## 2. 漆とは...? (参考)

地域	主な樹種	主成分
日本、中国、韓国	ウルシノキ	ウルシオール
北ベトナム、台湾	アンナンウルシ	ラッコール
タイ、ミャンマー、カンボジア	ブラックツリー	チチオール

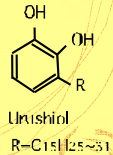
## 2. 漆とは...? (参考)

### ・漆の成分

ウルシオール 69.7~71.9%  
 ゴム質 5~6.2%  
 含窒素物 1~1.4%  
 水 19.3~23.1%  
 酵素 微量



(平成23年度浄法寺漆成分分析結果より)



## 3. 漆の採取方法は...? (参考)

- ・1シーズンで一人あたり 200~300本の木を掻く
- ・漆を20貫(約75kg)採れると一人前
- ・採取時期により、漆の名称、品質が異なる(人、天候によっても異なる)。



名称	初漆	盛漆	末漆	裏目漆	止め漆
時期	6~7月	8月	9月	10~11月	10~11月
		ウルシオールが一番多い		注文があれば掻く	今は掻いている人いない

## 3. 漆の採取方法は...? (参考)

### 1. 漆掻きの工程(カマズリ)



ウルシカマを使って、木肌の表面を滑らかにし、カンナで溝(辺)を付けやすいように荒皮を削る

## 3. 漆の採取方法は...? (参考)

### 2. 漆掻きの工程(辺掻き)



カマズリした部分にカンナで辺を付けていく

## 3. 漆の採取方法は...? (参考)

### 3. 漆掻きの工程(掻き採り)



にじみ出てきた漆をヘラで掻き採り、タカップへ入れていく

## 3. 漆の採取方法は...? (参考)

### 4. 漆掻きの工程(伐採)



1シーズン漆を掻き採ったウルシノキは、最後に切り倒す。次の春に新しいウルシの芽が出る(萌芽更新)